NIE実践報告

1．タイトル：☆原爆から学ぶ

2．学校名

岡山県美作市立大原小学校

3．実践者名（代表者名）

建元貞昭

4．学年

第6学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

総合的な学習の時間　40人

6．単元（本時の学習課題）名

「原爆から学ぶ」（平和）

7．目標(狙い)

新聞記事から原爆の悲惨さと共に平和への尊さを読み取る。

8．評価の視点

新聞記事から必要な情報を取り出し、現在も続く問題として考えることができる。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

「アジア太平洋に広がる戦争」「総合的な学習（平和）」6時間

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

①社会科「戦争と人々の暮らし」の単元との結びつきの中で原爆を考える。
②戦争や原爆についての記事を探そう。
③記事の内容を詳しく調べたり、感想を書いたりする。
④意見交流会を開こう。
⑤修学旅行を通して実際に原爆の恐ろしさと平和への願いを感じる。
⑥意見交流会を開こう。（最初の自分の考えと現地で見た広島とを比べながら戦争について考える。）

（留意点）
・新聞記事の言葉・語句をそのまま引用するのではなく、辞書等を調べて自分の言葉でまとめることをさせる。
・現地学習を身近なものにするために写真等の資料を添付することを助言する。
・情報機器を使い、写真等を投影しながらわかりやすく意見交換ができるように助言する。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

記事の中にある写真と現地で見たものの一致に、改めて驚きと納得の感想が多くあった。また、8月の終戦特集の記事を通して、興味関心が高まり意欲的な学習態度が見られた。

12．成果と課題

新聞の切り抜きを行うことで、写真からイメージしたり、テレビのニュースとも関わらせたりしながら感想を書いている児童もいた。これから修学旅行に行く場所についてのことだったため、興味を持って取り組んだ。また、過去のことではなく現在にも引き続いている問題だと言うことも確認できたように思う。修学旅行後も、広島に関わる記事や、核兵器に関わる記事を見つけるなど、新聞の見方が変化した様子も感じることができた。新聞記事の内容を使うことで学習の効果が更に高められると感じた。